

平成28年度にBhas形質転換試験を実施した物質について

1 これまでの経緯

(1) WG での評価及び試験の実施

遺伝毒性評価 WG において、「遺伝毒性なし」と評価された物質のうち、非遺伝毒性発がんスクリーニング試験対象物質の選定方針の基準に基づき、資料 1 - 2 及び資料 1 - 3 の 16 物質を平成 28 年度の遺伝毒性評価 WG で選定し、平成 28 年度の委託事業等により Bhas 形質転換試験を実施した。

(試験実施物質)

- ① 4-メトキシフェノール
- ② イソ酪酸
- ③ 酪酸
- ④ 硫酸鉛(Ⅱ)
- ⑤ 4-tert-ペンチルフェノール
- ⑥ グルコン酸カルシウム-水和物
- ⑦ ナトリウム=D-グルコナート
- ⑧ カルシウム=ジホルマート
- ⑨ テトラデカン
- ⑩ ジイソブチレン (2, 4, 4-トリメチル-2-ペンテン)
- ⑪ tert-アミルベンゼン
- ⑫ 2-エチルブタン-1-オール
- ⑬ 3-メチルブタン-2-オン
- ⑭ 3-メチルブタン酸
- ⑮ 1-ヘプタノール
- ⑯ 2-エチルブタン酸

2 本WGにおける検討事項

- (1) Bhas 形質転換試験結果の評価を行う。
- (2) 試験結果が陽性と評価された物質について、ラット肝中期発がん性試験の候補物質 (発がん性評価 WG で選定) とするかを検討する。